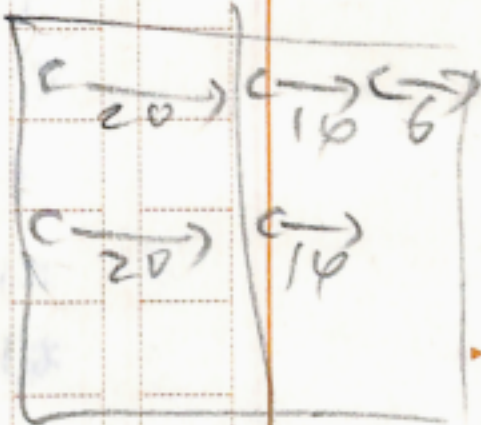


少年

金田園武



眞夜中のガラス戸の外に
 毎晩棒の男が立っている
 ガラス玉の目を暗く光らせ

風が吹くと さよさよ影にかくれ
 足音しのばせ
 わが家のまわりをめぐる

何もしないじゃあなにか
 柿の葉が仮面をかぶって
 風のながれにさやささよぐたけ

闇のなかで目をこらし
 じいーっところとうかがうあいつ
 じいーっところとうかがうあいつ

ま夜中まで目を光らせている
 学校から家までつけてきて

目下

2682